令和3年12月議会

生活環境委員会 報告資料

1 一般財団法人福岡市交通事業振興会の清算結了について

••• 1頁

2 物品購入契約の締結について

契約件名:3000系車両用自動列車制御装置外5件・・・ 10頁

令和3年12月23日

交 通 局

一般財団法人福岡市交通事業振興会の清算結了について

第1 一般財団法人福岡市交通事業振興会の概要

- 1 設立目的、事業内容等
 - (1) 名称、設立年月日、所在地

ア 名 称 一般財団法人 福岡市交通事業振興会

イ 設立年月日 昭和56年1月6日

(平成25年4月1日に一般財団法人に移行)

ウ 所 在 地 福岡市中央区大名二丁目5番31号

(2) 設立目的

本会は、福岡市の交通問題に対する意識の啓発、交通道徳の普及、及び福岡市の地下鉄の乗客への便益増進等に関する事業を行い、もって福岡市の交通事業の健全な発展と公共の福祉に寄与することを目的とする。

(3) 事業内容

- ア 福岡市の交通問題に対する意識の啓発に関する事業
- イ 交通道徳及び交通安全についての知識の啓発に関する事業
- ウ 地下鉄の乗客への便益増進に関する事業
- エ 地下鉄の施設、設備等の環境保持に関する業務
- オ 地下鉄の施設及び車両に掲出する広告物の取扱いに関する業務
- カ 地下鉄の乗客への利便施設として設置する店舗等の管理・運営に関する業務
- キ その他本会の目的を達成するために必要な事業

(4) 基本財産

10,000千円(福岡市全額出資)

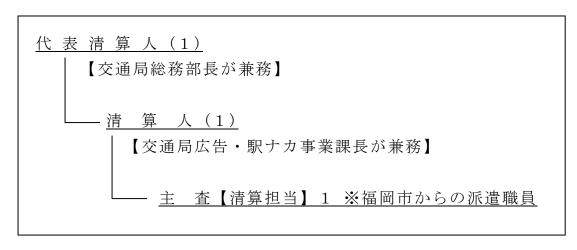
(5) 役員(令和3年9月1日現在)

役職名	B	E	彳	Ż	備 考
代表清算人	金	П	浩	治	福岡市交通局総務部長
清算人	内	藤	晴	之	福岡市交通局総務部広告・駅ナカ事業課長
監事	谷	П	善善	洋	福岡市交通局総務部財務課長

(6) 評議員(令和3年9月1日現在)

役職名	氏	名	備 考
評 議 員	久 留	百合子	株式会社ビスネット代表取締役
評 議 員	髙島	収	公益財団法人福岡観光コンベンション ビューロー専務理事
評 議 員	町田	一彦	福岡市住宅都市局理事

2 組織(令和3年9月1日現在)



3 団体設立から清算結了までの経緯

昭和56年1月 設立登記

" 7月 1号線(室見~天神)開業

平成25年4月 一般財団法人へ移行

平成30年8月 第4委員会において、団体の解散について報告

令和3年4月 一般財団法人福岡市交通事業振興会解散

令和3年9月 一般財団法人福岡市交通事業振興会評議員会を開催し、

決算報告を承認

"清算結了登記

4 残余財産

(1) 残余財産の額

①現金預金(基本財産取崩金含む) 324,820,696円

②固定資産等 4,623,190 円

計 329,443,886 円

(2) 残余財産の処分方法

残余財産は、一般財団法人福岡市交通事業振興会定款第43条の規定に 基づき、これを福岡市(交通局)に寄附した。

第2 令和3年度決算

1 貸借対照表(令和3年9月17日現在)

△印減 (単位:円)

科 当 年 度 前年度 増 減 資産の部 1 流動資産 現 金 金 0 472,109,555 472,109,555 \triangle 未 収 金 0 48,777,500 48,777,500 \triangle 商 0 品 1,078,427 \triangle 1,078,427 金 前 払 0 32,800 32,800 \triangle 521,998,282 流動 資 計 521,998,282 産 合 0 固定資産 (1) 基本財産 基本財産投資有価証券 0 9,996,000 9,996,000 \triangle 期 定 預 金 0 4,000 4,000 \triangle 基本財産合 計 0 10,000,000 10,000,000 \triangle (2) その他固定資産 18,792,079 18,792,079 0 \triangle 売店減価償却累計額 0 16,854,283 16,854,283 \triangle 物 築 0 3,631,920 3,631,920 構築物減価償却累計額 0 2,993,963 2,993,963 \triangle 器 備 0 3,777,400 品 3,777,400 \triangle 什器備品減価償却累計額 0 2,808,390 2,808,390 話 加 入 0 370,000 370,000 その他固定資産合計 () 3,914,763 3,914,763 Δ 固定資産合 計 0 13,914,763 \triangle 13,914,763 計 0 資 産 合 535,913,045 535,913,045 Ⅱ 負債の部 流動負債 未 払 金 0 61,034,860 61,034,860 1) 預 金 0 137,020,506 137,020,506 流動負債 0 合 計 198,055,366 198,055,366 \triangle 計 負 0 198,055,366 198,055,366 債 合 Ⅲ 正味財産の部 指定正味財産 寄 付 0 10,000,000 10,000,000 金 指定正味財産合計 0 10,000,000 10,000,000 (うち基本財産への充当額) 0)(10,000,000) (△ 10,000,000 (うち特定資産への充当額) 0)0)(0 一般正味財産 327,857,679 327,857,679 (うち基本財産への充当額) 0) 0)(0) (うち特定資産への充当額) 0) 0)(0) 正味財産合 0 337,857,679 337,857,679 負債及び正味財産合計 0 535,913,045 535,913,045

2 正味財産増減計算書(令和3年4月1日から令和3年9月17日まで)

△印減 (単位:円)

科 目	当 年 度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
① 基本財産運用益	51,335	57,586	△ 6,251
② 事 業 収 益	0	347,014,937	△ 347,014,937
③ 雑 収 益	22,113	147,272	\triangle 125,159
④ 引 当 金 取 崩 額	0	27,000	△ 27,000
経 常 収 益 計	73,448	347,246,795	△ 347,173,347
(2) 経 常 費 用			
① 事 業 費	0	375,054,796	△ 375,054,796
② 管 理 費	8,189,741	27,529,375	△ 19,339,634
経 常 費 用 計	8,189,741	402,584,171	△ 394,394,430
基 本 財 産 売 却 益	108,000	0	108,000
当 期 経 常 増 減 額	△ 8,008,293	△ 55,337,376	47,329,083
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取寄付金振替額	10,000,000	0	10,000,000
経常外収益計	10,000,000	0	10,000,000
(2) 経常外費用			
① 除 却 損 失	370,000	3,247,799	△ 2,877,799
売 店 除 却 損	0	1,828,725	△ 1,828,725
構築物除却損	0	1,419,073	△ 1,419,073
什器備品除却損	0	1	Δ 1
電話加入権除却損	370,000	0	370,000
② 繰延資産償却費	0	55,566,917	△ 55,566,917
繰延資産償却費	0	55,566,917	△ 55,566,917
③ 支 払 寄 付 金	329,443,886	0	329,443,886
支払寄付金	319,443,886	0	319,443,886
基本財産取崩金	10,000,000	0	10,000,000
経常外費用計	329,813,886	58,814,716	270,999,170
当期経常外増減額 税引前当期一般正味財産増減額	△ 319,813,886		△ 260,999,170
	△ 327,822,179	△ 114,152,092	△ 213,670,087
法人税, 住民税及び事業税 法 人 税 等 還 付 税 額	35,500	71,000	△ 35,500
法 八 祝 等 堰 竹 祝 額 当期一般正味財産増減額	0	16,922,479	△ 16,922,479
三朔一般正味財產期首残高	\triangle 327,857,679 327,857,679	△ 97,300,613	\triangle 230,557,066 \triangle 97,300,613
一般正味財産期末残高	321,851,619	425,158,292 327,857,679	\triangle 97,300,613 \triangle 327,857,679
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	521,051,019	△ 321,031,019
当期指定正味財産増減額	△ 10,000,000	0	△ 10,000,000
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	△ 10,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	0	337,857,679	△ 337,857,679
·····································	0	331,031,019	م المرادة الم

3 財務諸表に対する注記

基本財産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産投資有価証券	9,996,000	0	9,996,000	0
定期預金	4,000	0	4,000	0
小 計	10,000,000	0	10,000,000	0

4 附属明細書

基本財産の明細については、財務諸表に対する注記に記載をしているため、省略する。

5 財産目録(令和3年9月17日現在)

(単位:円)

	対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金	額
(流動資産)					
	預金				0
流動資産合	 計				0
(固定資産)					
固定資産合	計				0
資産合計	†				0
(流動負債)					
	未払金				0
流動負債合	· 言十		•		0
負債合計				0	
正味財産					0

6 収支計算書(令和3年4月1日から令和3年9月17日まで)

△印減 (単位:円)

科目	当初予算額	最終予算額	決 算 額	(単位:円) 差 異 (最終予算-決算)
 I 一般正味財産増減の部				(4)(水) 开(八开)
1 経常増減の部				
(1) 経 常 収 益				
	28,000	28,000	51,335	\triangle 23,335
② 事 業 収 益	0	0	0	0
③ 受 取 寄 付 金	10,000,000	0	0	0
④ 雑 収 益	2,000	2,000	22,113	\triangle 20,113
経 常 収 益 計	10,030,000	30,000	73,448	△ 43,448
(2) 経常費用				
① 事 業 費	0	0	0	0
② 管 理 費	10,756,000	10,756,000	8,189,741	2,566,259
経 常 費 用 計	10,756,000	10,756,000	8,189,741	2,566,259
基本財産売却益	0	0	108,000	△ 108,000
当 期 経 常 増 減 額	△ 726,000	△ 10,726,000	△ 8,008,293	△ 2,717,707
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 受取寄付金振替額	0	10,000,000	10,000,000	0
経 常 外 収 益 計	0	10,000,000	10,000,000	0
(2) 経常外費用				
① 除 却 損 失	370,000	370,000	370,000	0
売 店 除 却 損	0	0	0	0
構築物除却損	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0
電話加入権除却損	370,000	370,000	370,000	0
② 繰 延 資 産 償 却 費	0	0	0	0
繰 延 資 産 償 却 費	0	0	0	0
③ 支 払 寄 付 金	325,394,000	325,394,000	329,443,886	△ 4,049,886
支 払 寄 付 金	325,394,000		329,443,886	
経常外費用計	325,764,000		329,813,886	△ 4,049,886
当期経常外増減額	△ 325,764,000			4,049,886
税引前当期一般正味財産増減額	△ 326,490,000		△ 327,822,179	1,332,179
法人税,住民税及び事業税	36,000		35,500	500
当期一般正味財産増減額	△ 326,526,000		△ 327,857,679	1,331,679
一般正味財産期首残高	326,526,000		327,857,679	△ 1,331,679
一般正味財産期末残高	0	0	0	0
Ⅱ 指定正味財産増減の部	Λ 10.000.000	Λ 10.000.000	Λ 10.000.000	0
一般正味財産への振替額	△ 10,000,000			0
当期指定正味財産増減額	10,000,000			0
指定正味財産期首残高	10,000,000		10,000,000	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0	0

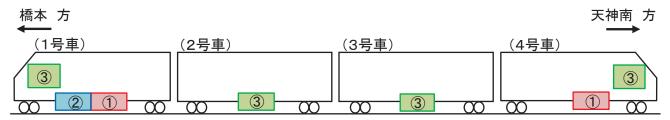
7 残余財産の処分

(1)	解散時の財産総額	
	① 流動資産	473, 220, 782 円
	② 固定資産	13, 914, 763 円
	ア 基本財産	10,000,000 円
	イ その他固定資産	3, 914, 763 円
	計	487, 135, 545 円
(2)	債権の取立て、資産の処分その他の行為によ	って得た収入の額
	① 債権の取立額	48,777,500 円
	② 基本財産の運用益等	73, 448 円
	③ その他の行為によって得た額	108,000 円
	計	48, 958, 948 円
(3)	債務の弁済、清算に係る費用の支払その他の	行為による費用の額
	① 債務の弁済	61,034,860 円
	② 解散(清算)事務経費	8, 189, 741 円
	③ 法人市·県民税	35,500 円
	④ 預り金の返還等	137, 020, 506 円
-	⑤ その他の行為による費用の額	370,000 円
	計	206, 650, 607 円
(4)	残余財産の額 (1)+(2)-(3)	
	① 現金預金	314,820,696 円
	② 基本財産取崩金	10,000,000 円
-	③ 固定資産等	4,623,190 円
	計	329, 443, 886 円

物品購入契約の締結について

契約件名	3000系車両用自動列車制	訓御装置外5件		
概要	七隈線を走行している300 り、約17年が経過している。 し安全を確保している自動が動的に安全に制御している 視や各装置へ制御指令を保 に対して計画的に機器更新 の。 また、自動列車制御装置、 予備品を購入するもの。 購入品目及び数量 自動列車制御装置(3約 車両情報制御装置(3約	自動的に列車速度 列車制御装置、列 自動列車運転装置 云送している車両情 ですることで安全性 自動列車運転装 自動列車運転装 目:3編成分)、同装 目:3編成分)、同装	を制限速度以下車の加速やブレー量、及び各装置の質報制御装置の経・信頼性の向上を 置、車両情報制御 置、車両情報制御 置の予備品(1組)	に制御 中を監 年劣化 図 装置の)))
履行場所	福岡市西区橋本二丁目3	34-1 (橋本車両	j基地)	
履行期間	令和 3 年 10 月 22	日から 令和 5	年 3 月 17	日まで
契約方法	特命随意契約 (根拠法令:地方公共団体 特例を定める政令第11条		寺定役務の調達	手続の
特命随意契 約 の 理 由	本装置は、運転保安システムの一部として列車の安全運行を支える重要な装置であり、自動運転システムの一部としても地上の運行管理システムやホームドア設備と密接に連係し機能している。 本装置は、メーカー独自に設計製作されており、他社製品との互換性がなく、既存装置との接続・通信に必要となる設計情報についてもメーカー独自の技術によるため開示されていない。また、本装置の機能確認や保守点検を行う車両総合試験装置も既存装置と併せて設計製作されていることから、他のメーカーでは既存の試験装置に対応ができない。以上のことから、既存装置の製造メーカーである当該業者と随意契約を行うもの。			
見積年月日	令和 3 年 10 月 15	日 (契約日	令和3年10月	22 日)
契約業者	福岡市早良区百道浜二丁目1番1号 株式会社日立製作所 九州支社 支社長 渋谷 貴弘			
契約金額	357,500,000 円 (うち消費税及び地方消費税額 32,500,000 円)			
見積経緯	業者名	見積	金額(単位:円)	
及び結果	株式会社日立製作所 九州支社	1回目金額	2回目金額	備考
及 0 船 木		372,896,000	325,000,000	

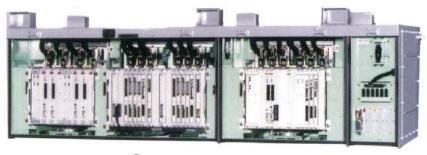
機器の概要



件名	記号	装 置 名	説明
3 0	1	自動列車制御装置 (3組:3編成分)	自動列車制御装置は、自動的に列車速度を制限速度以下に制御し安全を確保する装置で、地上装置からの信号を受信する機器、列車速度と制限速度を比較し超過した場合はブレーキ指令を出す機器などから構成される。
0 系車両	2	自動列車運転装置 (3組:3編成分)	自動列車運転装置は、列車の加速やブレーキを自動的に安全に制御する装置で、地上装置と通信する機器、目標速度に対して加速、減速させる指令を出す機器、ホームドアとの連動を行う機器などから構成される。
用自動列車	3	車両情報制御装置 (3組:3編成分)	車両情報制御装置は、各装置の動作監視や各装置へ制御指令を伝送する装置で、各装置と通信する機器、乗務員が機器状態を確認するモニタ機器などから構成される。
制御		自動列車制御装置 の予備品(1組)	①の自動列車制御装置の主要な機器
装 置 外 5		自動列車運転装置 の予備品(1組)	②の自動列車運転装置の主要な機器
件		車両情報制御装置 の予備品(1組)	③の車両情報制御装置の主要な機器

装置写真

※写真は現行のもの



① 自動列車制御装置



② 自動列車運転装置



③ 車両情報制御装置